

公立大学法人首都大学東京 平成29年度計画(概要)について

第三期中期計画

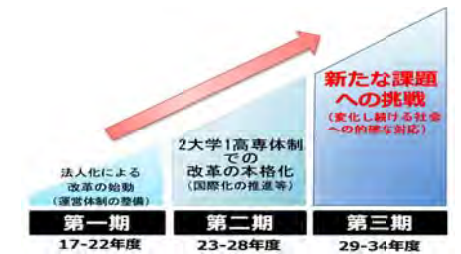
一層の飛躍に向けた“選択と集中”による積極果敢なチャレンジの展開

計画期間:2017(平成29)年度～2022(平成34)年度

【重点方針】

- ① グローバル社会において活躍できる人材の育成、人類社会の発展に貢献する卓越した研究の推進
- ② 東京都が設立した公立大学法人としての特色を生かした教育研究を推進し、東京の未来へ貢献
- ③ 社会の要請に的確に応えるための法人運営基盤の強化

※取組の進捗や成果を定量的・客観的に把握するため半数以上の項目に重要業績評価指標（KPI）を設定



第三期中期計画では、“グローバル化の深化”“第4次産業革命”“2018年問題”“東京2020大会”など社会情勢の急激な変化を踏まえ、質の高い教育研究や社会貢献を実践します

平成29年度計画の特徴

第三期中期計画期間の飛躍の礎となる計画を立案

第三期中期計画に照らし初年度に重点的に取り組むべきことを明確化・具体化し、社会要請や時代の変化に応じた創造性ある取組、更なる質の向上・効率化を推進する取組等に積極的に挑戦します

～第三期中期計画中の戦略的な法人運営を推進するための仕組みを導入し、ガバナンス体制を強化します～

- ◆ 中期目標・計画に照らし、初年度に重点的に取り組むべきことを明確化・具体化
- ◆ 数値等により到達目標を明確化・客観化し、PDCAにより事業をレベルアップ
- ◆ 実施体制を明確にし、計画の実行性を確保しつつ、組織間の連携・協力を深化
- ◆ 重点事項やKPIの進捗管理の定例化を図る仕組みを構築

基本方針

教育・研究の充実

豊かな人間性と創造性を兼ね備えた世界で活躍できる人材の確保・育成のため、教育・研究内容の充実や環境整備を推進

社会貢献の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた積極的な取組をはじめとした都との連携強化及び教育・研究成果の社会への積極的な還元

グローバル化への対応の加速

学生の留学支援や留学生の受け入れを拡充するとともに、世界の大学等との国際連携を展開するなど国際化を加速

組織運営基盤の強化

情報セキュリティ対策の徹底、ブランド力向上に向けた広報活動の積極的展開、ダイバーシティの推進、施設設備の計画的な更新・整備



AIT 産業技術大学院大学
ADVANCED INSTITUTE OF INDUSTRIAL TECHNOLOGY



※基本方針に従い、首都大（139項目）、産技大（45項目）、高専（33項目）、法人（74項目）、計291項目の年度計画を策定しました。



■教育・研究の充実

現状（第二期中期期間までの取組）

- 学生が本物の“考える力”を身に付ける環境確立に向けた教育改革基本方針の策定
- 能動的学修を促進するTA（ティーチング・アシスタント）制度の再構築、ラーニング・コミュニティの開設
- 基礎ゼミナールの充実、総合ゼミナールの開講
- 授業改善アンケートを軸とした授業改善サイクルの構築
- 新たな時代要請に応えるための教育研究組織再編構想案の策定

※能動的な学び育成に向けた教育改革を始動



【「ラーニング・コミュニティ」】

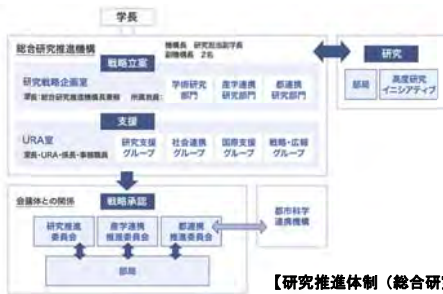


【授業改善ハンドブック】

現状（第二期中期期間までの取組）

- URAの配置、総合研究推進機構の設置等研究推進体制の整備
- 基本研究費、研究費学長裁量枠の見直しなど研究費制度の充実
- 国際的研究拠点をめざす部局附属研究センターの設置

※研究支援充実により高い研究実績を維持



【研究推進体制（総合研究推進機構）】

平成29年度計画

◆教育改革の推進のための教育課程の見直し

- ・平成30年度の教育研究組織の再編に向け、**全部局のカリキュラムを再構築、カリキュラムマップ等を策定**します。
- ・大学院の**分野横断型プログラムのパイロットプログラム設計**を行います（平成30年度より開始）。
- ・能動的な学びを促進する**アクティブ・ラーニングの推進**及びTAの採用拡充等に向け、事業予算の重点支援等を行う首都大学東京教育改革推進事業の仕組みを見直します。 **対応報告事項**

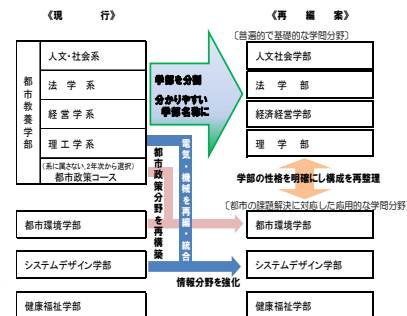
◆教育改革を推進するための環境整備

- ・全学的な教育改革の更なる推進に向け、**教学IRに基づく教育成果の把握・検証の仕組み**を検討し、教育に係るデータ分析の取組みを促進します。 **対応報告事項**
- ・**授業改善実践例等の全学共有化の促進**により、教員のFD活動を推進します。 **対応報告事項**
- ・大学入学者選抜改革への円滑な対応に向け、**アドミッション・センターを設置**するとともに、AO入試等の**多様な選抜の拡充**に向けた取組みを推進します。

教育改革の推進・30年度組織再編への対応

【第3期 KPI】

★学部等の再編 **30年度**
★TA等の配置数 **1,000人以上**
(アクティブラーニング補助等)



【首都大学東京の学部の再編成（平成30年度～）】

平成29年度計画

◆世界をリードする研究の重点的な推進

- ・基礎研究力の更なる強化を目指す研究や、首都大の強み・特色を有する国際的研究拠点をめざす研究に、学長裁量枠による戦略的・重点的な支援を行う等、研究水準の向上を図ります（**研究センター外部資金獲得額150%以上**（26-28年度平均比））。 **対応報告事項**
- ・産業振興やエネルギー問題・危機管理など**大都市課題解決に資する分野横断的・学際的な大型プロジェクトを創設**します。

◆研究推進体制の整備

- ・戦略的な研究支援を強化するため、総合研究推進機構における研究支援事業や**URAのプロジェクトマネジメント力の強化**を図ります
- ・研究力の強化を図るため、**海外の有力な研究者との連携強化に向けた取組を展開**します。 **対応報告事項**
- ・研究施設・設備の戦略的な運用を図るため、**研究機器共用センター（仮称）設立に向けた取組を推進**します。

研究支援の重点化による高い研究レベルの維持・強化

【第3期 KPI】

★Top10%論文割合 **10%以上**
★外部資金獲得額 **150%以上増**
★研究センター設置数 **12拠点**



【研究広報紙 TMU-Beyond Academia】



■社会貢献の推進

現状（第二期中期期間までの取組）

- 大都市課題解決を目指し、施策提案発表会の充実、スタートアップ制度の創設、総合防災対策研究プロジェクトの創成など都・市町村との連携の強化
 - 「多摩の魅力発信講座」の実施など、地元金融機関等と連携した地域連携活動の推進
- ※都などとの連携強化を通じた都市課題解決活動の充実



【総合防災対策研究プロジェクト】



【多摩の魅力発信講座】

■グローバル化への対応の加速

現状（第二期中期期間までの取組）

- 国際化の加速・充実に向けた国際化基本方針、国際化行動計画の策定
- 経済的支援など学生の海外派遣留学制度構築
- 留学生宿舎の確保、SATOMU（交換留学生受入プログラム）の開始など受入プログラムの充実による留学生受入体制の整備

※派遣留学生数・受入留学生数・国際交流協定校数の大幅な拡大

	H23	H24	H25	H26	H27
受入(人)	286	355	383	414	435
派遣(人)	44	62	138	169	200
国際交流協定校	40	48	56	79	96

【受入・派遣留学生数・協定校数（全学）の推移】



【日本語授業】

平成 29 年度計画

◆全学的な都連携の取組の推進

- ・産業振興やエネルギー問題・危機管理など大都市課題解決に資する分野横断的・学際的な大型プロジェクトを創設する（再掲）とともに、東京都への施策提案を促進します。
- ・高度金融人材育成プログラムや自治体職員向け地域創生に関する研修プログラムを実施し、都の施策との連携を推進します。

◆産学公連携の推進・生涯学習機能の充実

- ・地域課題解決に向け、金融機関や民間企業等と連携を強化し、地域支援に関するプロジェクトを実施するとともに、大学発ベンチャーの創成支援を推進します。
- ・学術成果の都民への還元や社会人リカレント教育の更なる充実を目指し、オープンユニバーシティの講座体系の見直し等を推進します。

都民生活の質的向上への取組の充実

【第3期 KPI】

★大型研究プロジェクト 10 件以上創設



【地域創生スクール】

平成 29 年度計画

対応報告事項

◆学生の海外派遣・留学生受入れの拡充

- ・留学英語講座の拡充や奨学金プログラム、国際副専攻コースの着実な実施により学生の海外派遣を促進します（派遣留学生数 217 名）。
- ・国内外でのプロモーション拡充、短期での受入れプログラムの充実、都市外交人材育成基金によるアジア諸地域や都の姉妹友好都市等からの大学院生受入れ等により留学生の受入れ拡大を図っていきます。

◆国際通用性ある教育研究環境の整備

- ・国際通用性ある教育研究環境の整備に向け、科目ナンバリングの全学的導入方針の策定、四半期授業の試行、互恵的関係を構築できる大学との国際交流協定の拡充や活発な教育研究交流が見込める大学等との交流重点校の制度設計などを行います。

国際的な教育研究環境構築の推進

【第3期 KPI】

★学生の海外派遣 1,350 人程度
 ★外国人留学生受入れ 900 人程度
 ★国際共同研究等件数 200%以上



【日本語・日本事情短期集中コース】

～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取組の展開～

- ・ボランティア・リーダー育成のためのボランティアプログラムを拡充するとともに、東京 2020 大会で求められる人材のマッチングを可能とする環境を整備します。
- ・東京 2020 大会の成功とレガシーの継承に資する研究プロジェクトを創設するとともに、成果発信のためのシンポジウムを開催します。
- ・障がい者スポーツに係る教育プログラムを継続するとともに、競技用車椅子の使用による体育館床材料の耐傷性への影響など障がい者スポーツに係る調査・研究を展開していきます。



【地域ボランティアプログラム（首都大）】



【TMU2020（首都大 東京2020HP）】

■教育・研究の充実

現状（第二期中期期間までの取組）

- 次世代成長産業分野における高度人材養成のための教育プログラムの開発、PBL教育手法の改善、他大学や産業界と連携した情報教育プログラム(enPiT)の展開
- 学生が獲得した能力評価基準を明示したディプロマサブリメントの作成、ブレンディッド・ラーニングの導入など教育の質の改善の促進
- HPリニューアル、大学説明会の充実、ターゲットにあった効果的な入試広報の展開

※高度専門技術者の育成に向けた実践型教育を深化



【PBL成果発表会】

■社会貢献の推進

現状（第二期中期期間までの取組）

- 都の政策課題解決支援に向けた「東京の中小企業の現状」の作成、自治体職員向けIT研修の実施
- 社会人専門職コミュニティの形成支援・充実を図るマンスリーフォーラムの実施

※専門職大学院の特性を活かした社会貢献の推進

■グローバル化への対応の加速

現状（第二期中期期間までの取組）

- APEN（アジア高度専門職人材育成ネットワーク）設立によるアジア地域の大学等との連携構築
- グローバルPBLや国際コースの開始などグローバル人材の育成充実

※海外大学との連携構築等を通じた教育研究のグローバル化推進



【グローバルPBL】

平成29年度計画

◆イノベーション人材を育成する高度専門職教育の展開

- ・企業における新規事業開発や起業・創業を担う人材育成のための教育プログラムの開発・設計とともに、産業界のニーズを踏まえたカリキュラム全体の見直しを行います。
- ・実践的な教育方法の更なる推進に向け、PBL教育に対する評価指標の検討を行うとともに、PBL教育のノウハウを体系化した「PBL Method（仮称）」の作成・公開、アクティブ・ラーニングに係る教育手法の検証・見直し等を進めていきます。

◆志願者獲得に向けた効果的な広報活動の展開

- ・ロールモデル集の活用等による教育成果の効果的な発信、教職員やリエゾンによる企業・大学等の訪問、WEBやソーシャルメディアを活用した大学院説明会への集客（参加者250名確保）などにより、専門職大学院にふさわしい学生の確保に向けた活動を展開します。

対応報告事項

【第3期KPI】

- ★新規カリキュラム開発 30年度
- ★アクティブ・ラーニング導入率 全授業の8割
- ★大学院説明会参加者数 年間250名



【AIITロールモデル集】

実践型教育の推進・志願者の確保

平成29年度計画

◆社会人リカレント教育と学修コミュニティの充実等

- ・最新の技術動向等をテーマとした学内外の勉強会であるマンスリーフォーラムの充実（参加者600名確保）を図るとともに、修了生が主宰する専門分野ごとの研究会の設置を支援する仕組みを構築します。

【第3期KPI】

- ★マンスリーフォーラム参加者数 年間600人程度
- ★自治体職員向け講座数 年間10講座



【AIITイノベーションデザインフォーラム】

学修コミュニティ形成支援の充実

平成29年度計画

◆グローバル人材を育成する教育の推進

- ・国際社会での活躍を想定した教育プログラムである国際コースの実施やアジア諸国等の大学と連携したグローバルPBLを展開していきます。
- ・TOEIC等のスコアや国際的に通用する資格取得、グローバル対応科目の履修など個々の学生のキャリア開発に応じたグローバル人材として獲得すべき能力指標の設計に着手します。

【第3期KPI】

- ★グローバル人材能力指標達成割合 全学生の8割

アジア諸国の大学等と連携したグローバル教育の推進

～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の展開～

- ・東京2020大会に関連するテーマを扱うPBL（2テーマ以上）を実施するとともに、新しいサービスにつながるアイデアを募集するビジネスコンテスト（仮称）を実施します。



■教育・研究の充実

現状（第二期中期期間までの取組）

- 教育課程・教育手法の充実を図るため、技術革新や産業界のニーズを踏まえたカリキュラムの再編、エンジニアリングデザイン教育の導入
- キャリア支援センターの設置などキャリア教育体系の再整備
- 多様な学生確保に向けた、シンボルマークの作成による高専ブランド構築の推進、女子学生向けHPサイトの新設

※「ものづくりスペシャリスト」育成教育の充実



平成 29 年度計画

◆国際的に通用する工学教育の展開

- ・産業界や社会の人材ニーズを踏まえ、**情報セキュリティ技術者及び航空技術者育成のための新たな職業教育プログラム**を展開するとともに、J A B E E（※）プログラムに対応したカリキュラムを着実に実施していきます。 ※JABEE：（社）日本技術者教育認定機構
- ・**エンジニアリングデザイン教育等の課題発見・解決型の実践的な教育を推進**します。
- ・ルーブリック評価の導入など学生の学習到達度評価・検証の仕組みの充実により、授業改善の取組を更に促進します。

対応報告事項

【第3期 KPI】

- ★情報セキュリティ技術者 **50名以上**輩出
- ★航空技術者 **20名以上**輩出
- ★JABEE 受審 **33年度**



【情報セキュリティ技術者育成プログラム】

国際的に通用する工学教育の充実

■社会貢献の推進

現状（第二期中期期間までの取組）

- ものづくり教育のすそ野拡大に向けた「ものづくり教育プログラム」の開発、普及促進
- オリンピック・パラリンピックを見据えた快適環境マップの作成開始

※ものづくり教育の中核としての社会貢献を推進

平成 29 年度計画

◆ものづくり技術者の学び直し教育の展開等

- ・中小企業のニーズに応じた新たな技術者育成講座を試行するとともに、若年層からの技術者教育の一環として中学生向け情報セキュリティ研修を実施します。
- ・情報関係業務に携わる自治体職員や社会人向け情報セキュリティプログラムの設計に着手します。

【第3期 KPI】

- ★ものづくり技術者育成講座 **倍増**
- ★都職員向け情報セキュリティ講座 **31年度開講**

ものづくり技術者支援の充実

■グローバル化への対応の加速

現状（第二期中期期間までの取組）

- 国際化推進プログラムの策定、海外体験プログラムの充実など国際化事業の体系化
- J A B E E受審を視野に入れた教育カリキュラムの再編

※ものづくり産業のグローバル化に対応した教育カリキュラムの整備・充実

平成 29 年度計画

◆国際的に活躍できる技術者の育成の推進

- ・J A B E Eプログラムに対応したカリキュラムを着実に実施するなど、国際通用性のある工学教育を展開していきます（再掲）。
- ・国際的に活躍できる技術者の育成のため体系化した国際化事業を再構築し、より実践的な**新たな海外体験プログラムを実施**（派遣数70名予定）します。

【第3期 KPI】

- ★海外体験プログラム参加者数 **年間70人程度**



【GCPグローバル・コミュニケーションプログラム】

グローバル化に対応できる技術者教育の推進

～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取組の展開～

・地域の中学生と協働して、障がい者等のスムーズな移動を支援する快適環境マップの機能拡充に取り組むとともに、高専の知見を活用した東京 2020 大会に資する研究を推進していきます。

■組織運営基盤の強化

現状（第二期中期期間までの取組）

- 理事長、学長、校長のリーダーシップ確立による法人全体の改革推進に向けた理事協議会の設置
- 計画、予算、組織・人員が連動した計画策定プロセスの確立
- 外部資金獲得推進に向けたU R Aの採用、研究重点教員支援制度の構築
- 2大学1高専の特性に合わせた教員人事制度の導入、将来を見据えた「選択と集中」の観点に立った教員定数の設定
- 「人材育成プログラム」に基づく法人職員のSD活動の展開、「国際化に対応する職員育成方針」の策定
- 大学高専連携事業基金を活用した国際連携プログラムや共同研究、動画コンテストの実施
- ブランド力向上に向けた法人全体の広報戦略の策定、新聞一面広告など法人広報の強化

※法人運営を支える組織運営基盤を強化



【全国紙新聞広告（読売新聞）】

現状（第二期中期期間までの取組）

- 情報セキュリティ対策の総点検に基づくセキュリティ組織（CSIRT）の設置、セキュリティ教育の充実
- 女性研究者研究支援員制度、学内保育施設の開設

※社会的信頼を確保するための体制整備を促進



【個人情報保護ポスター】

平成 29 年度計画

【第3期 KPI】

★TOEIC 700 点以上職員数 全職員の 25% 以上

◆戦略的な法人経営の展開等

- ・法人の重点事業に対する適正な進捗管理、法人予算全体の収支構造を中長期的に見据えた財政運営等により戦略的な法人経営を加速します。
- ・教育研究組織の再編成（首都大）、産業界の動向等を踏まえた在り方の検討（産技大）、新たな職業教育プログラムの実施（高専）など社会的要請に応えた教育研究の質向上の取組を法人全体で推進します。



【職員海外研修プログラム】

◆財務基盤の整備

- ・法人運営の安定性・自律性を一層確保するため、各学校ごとに外部資金獲得目標を設定、達成に向けた支援を促進するとともに、一般寄附金増収に向けた取組を強化します。

◆グローバル化を支える組織基盤の整備

- ・各学校のグローバル化に対応するため、職員の海外研修の拡大など国際化に対応する職員の育成を推進（TOEIC 600 点以上職員 17% 以上）します。

対応報告事項

◆法人内教育研究機関の更なる連携の促進

- ・3つの教育研究機関の学生が連携した新たな海外交流プログラムの実施など、2大学1高専の連携した取組を更に推進します。

◆戦略的な広報の展開

- ・首都大のブランド力向上を図るため、ターゲットを明確にした広報戦略を策定するとともに、大学のコンセプトを端的に表した新たな大学のマークやスクールカラーの活用による大学の魅力発信など、効果的な広報を推進します。

戦略的法人運営体制の強化



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

首都大学東京

【首都大コミュニケーションマーク】

平成 29 年度計画

【第3期 KPI】

★女性教員比率（首都大）全教員の 20%

◆社会的責任を果たすための体制の強化

対応報告事項

- ・情報セキュリティ対策の強化を図るため、セキュリティ専門組織CSIRT要員の養成教育を強化する等、インシデント対応体制の維持向上を図ります。

◆多様性の受容を促進するダイバーシティの推進

- ・障がい者差別解消やハラスメント防止研修の推進、出産・育児等の両立支援制度の運用等、職場環境の整備を進めます。

法令遵守等社会的な責任体制の整備の推進